

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平2-34776

⑬ Int. Cl. <sup>8</sup>

F 04 B 39/10  
F 04 C 18/356  
29/00  
F 16 K 15/16

識別記号

庁内整理番号

H 6907-3H  
M 6682-3H  
N 7532-3H  
B 8512-3H

⑭ 公開 平成2年(1990)3月6日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑮ 考案の名称 圧縮機における吐出弁装置

⑯ 実 願 昭63-114842

⑰ 出 願 昭63(1988)8月30日

⑱ 考 案 者 前 川 隆 滋賀県草津市岡本町字大谷1000番地の2 ダイキン工業株式会社滋賀製作所内

⑲ 出 願 人 ダイキン工業株式会社 大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル

⑳ 代 理 人 弁理士 津田 直久

㉑ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 板状を呈し、圧縮機における静止部材に取付ける取付片11と、前記静止部材に設ける吐出孔31を開閉する弁部12とをもった圧縮機における吐出弁装置であつて、前記弁部12に、該弁部12による前記吐出孔31の開鎖時、前記吐出孔31内に膨出する膨出部13を設けたことを特徴とする圧縮機における吐出弁装置。
- (2) 膨出部13が弁部と別部材の弁体から成り、該弁体に、前記弁部12に設ける挿入孔14に挿入され、その挿入先端部を前記弁部12の端面上部に突出させる保持部13aを一体的に設け、該保持部13aを介して前記弁体を前記弁

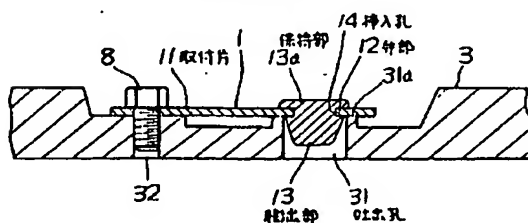
部12に一体に結合している請求項1記載の圧縮機における吐出弁装置。

図面の簡単な説明

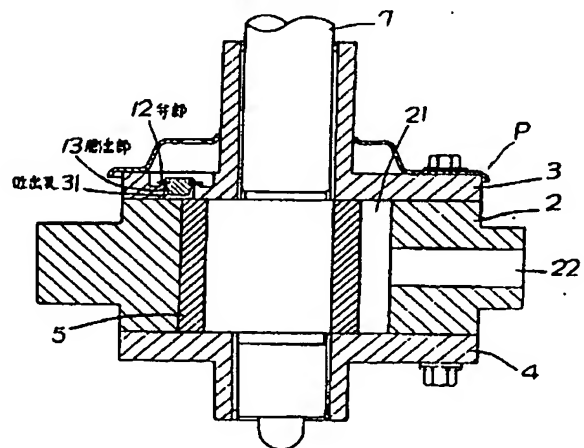
第1図は本考案装置の一実施例を示す拡大断面図、第2図は圧縮機におけるポンプ装置に組み込んだ状態の断面側面図、第3図は同横断平面図、第4図は第3図に対応した吐出工程時の説明図、第5図は第1図に対応した吐出工程時の説明図、第6図は別の実施例を示す説明図、第7図及び第8図は従来例を示す説明図である。

11……取付片、12……弁部、13……膨出部、13a……保持部、14……挿入孔、31……吐出孔。

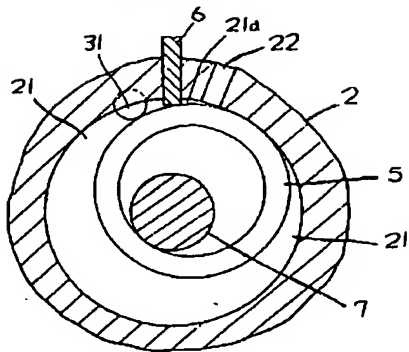
第1図



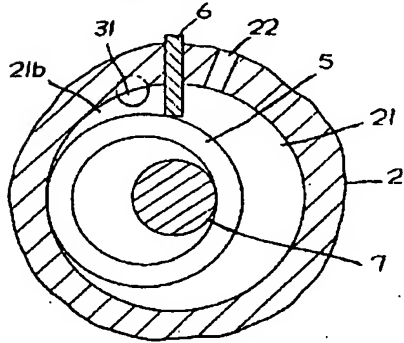
第2図



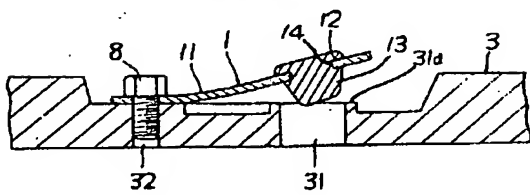
第3図



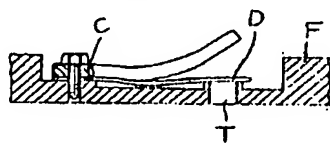
第4図



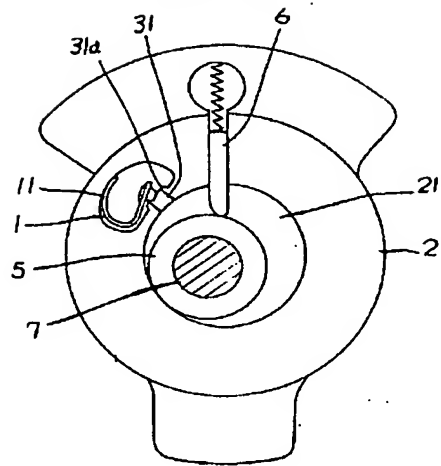
第5図



第7図



第6図



第8図

